

05 インドネシア/マカッサル

総面積:199.3km² / 人口:177万人 /
人口密度:7,400人/km²



都市の現状

インドネシア列島の中心部に位置し、南スラウェシ州の州都であるマカッサルは、インドネシア東部の中心都市であり、ハブ拠点として重要な役割を担っている。急速な社会経済成長の中心にあり、人口が増加し、優れた地理的条件と繁栄したサービス産業に支えられている。

スマートシティ行動計画

ビジョン：マカッサルを万人が住みやすい世界クラスの都市とする。

重点分野：健康と福祉、公共サービス

Project 1：改善されたヘルスケア

- ・全市民が医療サービスを容易に直接受けられるよう、さまざまなヘルスケア事業体と連携し、データの交換を容易にするヘルスケアエコシステムを開発する。

Project 2：オンライン税務サービスの統合

- ・統合e-TAXシステムによる税金徴収を通じ、市の収入増を図る。
- ・市民や企業が個人のモバイルアプリやワンタイム申告・支払プラットフォームを通じて、固定資産税、地方税、駐車税などを申告するよう働きかける。

取組み状況

2019年から2020年までのマカッサルスマートシティの実施：

- 1) インフラ開発とBIG DATA アプリケーションを完成する。特に医療に関するデータと情報サービス、税、その他コミュニティサービスの統合を完了する。
- 2) 現在構築している電子システムでヘルスサービスを統合する。
- 3) e-TAXシステムを介しサービスを統合する。
- 4) e-planningとe-budgetingを統合する。
- 5) すべての地方自治体に統一したデータを実装する。
- 6) 2020年のワンストップ公共サービスを実現するための技術インキュベーションプログラムを準備する。
- 7) 市民関係管理(CRM)に関する市長規制を決定する。



スマートシティ最高責任者

Mr. Ismail Hajiali / マカッサル市 通信情報部門長 / Email : hajiali.ismail2@gmail.com